

多摩のくらし～歳時記～花祭り～

花祭りは4月8日の灌仏会（かんぶつえ）の通称です。釈迦の誕生日に、花御堂をつくり、釈迦の誕生像に五種類の香水、または五色水、甘茶など注ぎ、礼拝する法会です。これは、釈迦の誕生を祝して竜王が香水を注ぎかけたという伝説によります。日本では推古天皇の時代から行われていたようで、平安時代になると宮中でも行われました。甘茶はユキノシタ科の落葉低木で、6月ごろあじさいに似た花が咲きます。甘茶の葉を干して煎じた黄色の甘い飲み物です。花御堂は赤い椿の花、ピンクの乙女椿、タンポポ、菜の花などで御堂の屋根を美しく飾り、釈迦の誕生像を据え置きます。人々は長蛇の列に並び、順に甘茶を像にかけ礼拝します。草だんごや、草もちを仏様にお供えします。



またその甘茶で毛筆の字を書くと、字が上達するといわれています。（川口キン）

*釈迦・・・紀元前7～6世紀ごろ中部ネパールの中心地、迦毘羅域に浄飯王の子として生まれました。ヒマラヤ山麓ネパールに居住していた部族、釈迦族の出身。仏教の開祖、世界四聖の一人。姓はゴータマ名はシッダルタ。誕生するなり、そのまま四方に七歩を運んで「天が上、天が下、我こそ最も尊い者なり、世に満つる諸々の苦しみを除くものなり」と言われたそうです。29歳で出家。35歳で悟りを得ました。80歳で入滅（2月15日）するまで教化の旅を続けました。



たまの顔

着やすく・おしゃれに・いきいきと♪

登戸ドレスメーカー学院で服飾教育45年の栗田佐穂子氏（現副校長）は、平成14年度、川崎市最高峰の匠として『かわさきマイスター』（洋裁・介護服）に認定されました。教鞭をとる傍ら、20年程前から“糸の詩”を主宰し、ボランティア活動をしながら得た実体験から、“着やすく・おしゃれ”な衣服を開発し、「福祉服飾」を全国に先駆けて提案



左：車椅子用コート
右：らくらくKAWASAKIネクタイ
商品開発のため、平成18年に「アソシエCHACO」を立ち上げられ、その後起業家オーディションに応募し“大賞”を取ると、ビジネスとして本格的にやらなければならないと思うようになったそうです。後継者育成にも努められ、高校中退や不登校、ニートになり回り道をしている若者たちが、“服飾で生きる力”を身につけながら、高校卒業資格も取得できる「ユニバーサル服飾高等学校」を24年4月に開校、実質25年4月に1期生がスタートします。

栗田佐穂子氏



編集後記

時代に合った、ダイナミックな組織になってきた会の、広報誌・ホームページを区民の皆さまが、併用してご覧になっていただければと、学びながら、頑張ってお集まりしております。区民の皆さまのご意見・要望などもお待ちしております。（井上）

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyoo.com/>

たま今昔

区制が敷かれてから40年を経た多摩区の昔の姿を探ります

その④ 中野島駅付近

昔 昭和46年 現在も同じ位置に踏切がある
提供：川島常雄氏

中野島駅ホームから立川方面を見た風景です。まっすぐな線路と踏切は変わっていませんが、周囲の建物は時代の変化を感じます。南武線の列車ももちろん変わってはいますが、写真全体としましては、その中に流れる空気はあまり変わっていないように感じます。

「たま今昔」に掲載する昔の写真募集中!

ご自宅に眠っている、多摩区の昔の姿を捉えた写真を広報誌に掲載しませんか?

ご提供いただける方は、事務局までご連絡ください!

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

多摩区まちづくり協議会 NEWS 2013年 (平成25年) 3月

39号



多摩の風景

二ヶ領用水宿河原堀

宿河原堀に種々の桜ごらんあれ!

二ヶ領用水宿河原堀の桜並木は、川崎市の観光スポットから今や関東有数の桜の名所としても知られるようになりました。約2kmにわたって400本以上の桜が咲く風景はまさに圧巻です。

昭和34年、中原区の井田堤から移植された桜は、育つにつれて虫の害を受けるようになり、それが沿線にある民家の庭の植木にも被害を及ぼしました。住民の反対運動で一時は根絶の危機にも遭いましたが、保存会の懸命な努力もあって、今では街のシンボルとして大きく育ちました。桜のほとんどはソメイヨシノですが、その他にもシダレザクラ、ヤエザクラなどがあり、いろいろな桜を楽しめます。生まれも育ちも川崎産というのが自慢です。桜の知名度が上がるにつれて訪れる人は増えましたが、川のごみの数は減り続けています。「マナーが良くなってきていることもうれしいことです」と、桜保存会の關山（せきやま）会長は語っています。

今年の桜まつりは4月7日(日)。1kmの桜並木の中を消防音楽隊、カラーガード隊、吹奏楽、鼓笛隊など、総勢300人がパレードします。美しい桜と、整備された川の流れのコラボレーション。ぜひとも一度、お越しください。ただしお酒は少し控えめにお願いします。



+ 活動 宿河原堤桜保存会



会員数約120人。桜の木を維持・管理するために昭和49年に結成されました。現在の会員は皆60歳以上で、ぜひとも40年近い伝統を受け継ぐために、若い人たちに入会してほしいそうです。年会費は2000円で、宿河原在住が条件となります。入会を希望される方は以下の連絡先へ。

電話 044-933-7015 (關山武男会長)

まちカツ!

2/9 (土)

今年度も多摩区まちづくり協議会1年間の活動発表の場である「まちカツ!」を、約100人の参加者を迎え開催しました。ここでは熱気に溢れた当日の様子や発表内容をお伝えします。



本多正典会長

多摩区まちづくり協議会の1年間

まち協には、「まちの課題抽出とその解決」と「中間支援的機能の拡充」のミッションがあります。前者の活動は、2つのプロジェクト、委員の教育などを行いました。後者の活動は、まちカツ!におけるポスター展示やポスターセッション、多摩★まちCafe、多摩★まち大学、広報誌、ホームページなどを通して実施しました。また、研修企画部の新設、多摩エコスタイルプロジェクトの立ち上げ、多摩★まちCafeの開催、広報誌のリニューアル、ホームページの本格運用などに新しく取り組みました。後期のまち協は、活動団体や区民と手をつなぎ、さらにその輪が大きくなっていくように、課題解決に取り組めます。



今年度の活動報告は大勢の参加者を迎え行いました



Project 「多摩エコスタイル」の1年間



石郷岡代表

多摩区は「水や緑」に取り組む環境活動団体は多いですが、地域や家庭でのエコ活動・環境活動に関わる団体や個人はあまりありません。次世代により良い環境を引き継ぐために今からその仕組みづくりが必要と感じ、次の2項目に取り組むことを目的として昨年7月にスタートし活動しました。

1. 区民の環境に対する意識の向上

区内のイベントに積極的に参加し、「民家園通り商店会夏祭り」でエコ紙芝居を披露し、「サマーミュージアム」で会員募集を行い、「夏休みたまエコフェスタ」でたまエコマップを作成し、「区民祭」で1日1エコ運動展開や自然エネルギーの紹介などをしました。講座と



「1日1エコ運動」は区民祭をはじめ区内の各イベントで展開

しては「緑のカーテンを作ろう・ゴーヤの育て方講習会」「エコショッピングクッキング」をしました。また、まちづくり協議会のHPにブログを掲載しました。

2. 区内の環境団体とのネットワーク化と連携活動のための場の構築

「多摩★まちCafe」で「エコ」をテーマにして多摩区のエコ活動団体とコミュニケーションを図り、他の活動団体のイベントに参加し、「まちカツ!」では活動内容を紹介しました。

「エコスタイルがよく似合うまち!多摩」を目指して楽しくエコ活動を続けたいと思います。



民家園通り商店街夏祭り子どもたちに「エコ紙芝居」を披露



Project 「多摩の居場所ふらっと」の1年間



久野代表

1000人を超える人々と“場”と“楽しさ”を共有できました

「ちょっとお願い、手を貸して」「はい、いいですよ」と言い合える仲間がいると、安心して生活できるなあという思いから、人と人のつながりをつくろうと活動を始めました。そのための“場づくり”と“出会いの仕組みづくり”をこれまで実践してきました。この4年を振り返ると、

①「ふらっと」の活動が、地域に根付いてきたこと
②それにより常連さんもでき、新規の方も増えてきたこと
③メンバーが増えたこと
④新しい活動場の要望が出てきたこと
などが成果として挙げられます。具体的な活動は以下の通りです。

新しい出会い



赤ちゃん連れの若い夫婦が見えたり、同年代の人と話がしたいと寄ったり・・サロンで招いた先生がおしゃべりしにきたり、また学生も。さまざまな方と出会いました。

今年も続いています



あうん介護センターでの「ふらっと」も2月で25回。少しずつ常連さんができています。「一年ぶりがしら」と言いながら顔を見せた方。時々ふらっと寄る方など・・

ふらっと



クイリングで遊ぼう! 作って食べよう!
お月見のお話とはり絵
多摩農マップを歩こう会
折り鶴のお正月飾り

コミュニティサロン

あなたの笑顔が一番(第3回)
季節の花めぐり(第4回)
自然観察会(第3回)
まちのみんなで★お楽しみ会(第3回)



稲田小・三田小の各わくわくプラザ、なのはな保育園、長尾こども文化センター、すかいきずで「割り箸テッポウ」や「ドラえもん折り紙」などを作りました。

助け合い・橋渡し

東菅小・登戸小・宿河原小の各わくわくプラザでクイリングやサンタ作りなど、生田中学校では蒸しパン作りをそれぞれ行いました。



創作教室「ほっぺ」と連携して陶板作りを行いました。

他団体との連携

広報紙の発行(11号)
民家園通り商店会夏まつり(第3回)
菅高校ボランティアメッセ(第2回)
わいわいお楽しみ会(第2回)



一年を振り返って《メンバーの感想》

○「超初級IT学習会」を受講したときにこの活動を紹介され、始めました。核家族になって二世、三世の家族が少なくなった現在、大変重要で必要とされる活動だと思いました。
○わくわくプラザでたくさんの児童と、「ドラえもんづくり」や「昔遊び」で初めて接した新メンバーの口々から、一様に「楽しかった」という言葉が出ました。ひと時の触れ合いが子どもたちの喜びを生み、相手をする私たちにも疲れを吹っ飛ばすような新しい喜びを与えました。もっともっと多くの人に参加してもらい、子どもたちとの触れ合いを通して地域での世代間交流をしていけたらと思います。

講演会

福永講師は終始落ち着いた語り口で、私たちが理解できるように大きな画面に文字を映しながら説明されました。何か行動しようとするとき、最初はひとりでも、自分ができることからやることで、次第に人が集まり、それが力になって、もしかしたら変えることができるかも。そんなことが「まちづくり」にも実現できるということが、具体的な事例を紹介することで納得でき、30分という時間がもっとあれば良かったと思えるほど有意義な講演でした。まちづくりのカギは「場」づくりということを知りました。

福永順彦講師



やる気になれば実現できそうな身近に感じる事例が紹介されました

ポスターセッション

活動団体への参加の呼び掛けと相互交流のきっかけの場

ポスター展の出展団体が一同に会し、それぞれの代表者が、参加者に自らの団体をPRするポスターセッション。限られた時間の中で参加者の興味や関心を引くプレゼンテーションに熱意が感じられ、その後の交流タイムではあちこちに輪ができていました。区民の皆さまには活動団体のことを知る機会として、また活動団体の相互交流のきっかけづくりにも役立つようです。多くの出展、ありがとうございました。



多摩区内のさまざまな分野の活動団体による濃密な発表が行われました

まちカツ!ポスター展・地域活動団体紹介



区役所1階アトリウムにポスター展のパネルを大々的に展開しました

地域のさまざまな活動団体を紹介

ポスター展は、まちづくり協議会と多摩区役所の主催により、地域の活動団体をご紹介するもので、28団体にご協力をいただきました。

今回は、アトリウムの壁面に大きな看板を掲げ、各団体のネームプレートを統一することで、見やすく分かりやすい表現を目指しました。さまざまな活動団体の存在に驚かれた区民の方々が、足を止めて見入っておられる姿が印象的でした。

ポスターセッション&ポスター展示に参加した活動団体

今年度のまちカツ!でも、多くの活動団体がポスターセッションやポスター展示に参加し、多摩区の市民活動の盛り上がり伝えてくれました。ここでは参加した全28団体を一覧で掲載するとともに、3つの団体にまちカツ!での発表を行った感想などを紹介いたします。



ポスター展示・出展団体一覧

- Club@ICT
 - かわさきかえるプロジェクト
 - 多摩区食生活改善推進員連絡協議会
 - 生田地区すこやか活動推進委員会
 - 明治大学 まち研プロジェクト
 - インターネット川崎ガイド
 - エコグリーンクラブ ※都合により出展中止
 - 多摩応急手当普及会
 - 登戸研究所保存の会
 - ソーラーチーム
 - 長尾台コミュニティ交通導入推進協議会
 - かわさき水辺の楽校
 - かわさき生活クラブ生協 のぼりとデポー
 - 福島の子どもたちとともに 川崎市民の会
 - 向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会
 - 多摩区運動普及推進員の会
 - 多摩区地域教育会議
 - たマザーもも倶楽部
 - NPO 法人 ぐらす・かわさき
 - 多摩区役所コンテナ花壇の会
 - クローバーの会
 - NPO 法人 まめな人生
 - NPO 法人 ままとんぎっず
 - 多摩区でプレーパークをやっちゃおう会
 - NPO 法人 川崎フューチャー・ネットワーク
 - 多摩区民生委員児童委員協議会
 - 川崎市立日本民家園 炉端の会
 - シニア読み聞かせボランティア りぶりんと・かわさき
- ポスターセッション参加 ● ポスター展示のみ参加

明治大学 まち研プロジェクト

「こういう発表会は初めてなので緊張しました」と言っていたのですが、ハキハキとこやかな活動紹介でした。今日のポスターセッションで多くの団体の活動内容を知り、「もっと地域に貢献したいと思っている学生はたくさんいますが、何をしたらいいのかわからないのです。とても参考になりました。最後に「『ふらっと』の仲間になります」ととてもうれしいことを言ってくれました。



福島の子どもたちとともに 川崎市民の会

皆さんに受け入れていただけるのか不安でしたが、暖かく接していただき感謝しています。それだけ震災というものが多くの人たちに影響を与えていることを改めて感じました。4月1日から福島の12家族約50人を川崎に招待し、4泊5日の予定で夢パークやプールで泳ぐなどしてリフレッシュしていただく予定です。多摩区のスタッフの人たちと、大学生の参加は会の支えになりますし、大きな励みにもなります。



向ヶ丘遊園の緑を守り、市民いこいの場を求める会

10年に及ぶ活動の中心的役割の松岡さんは、誰よりも向ヶ丘遊園の跡地の緑が残りを願ってられます。そして遊園跡地に寄せる市民の熱い思いが企業や行政に届き、より良い跡地利用が実現できるよう願っているそうです。こうした活動の区民への呼び掛けに、まちカツ!は非常に役立ち感謝です、ということでした。



多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>



緑のカーテンで エコな暮らしを

記事 山下



食も住もゴーヤが解決!? り大きく育てたい」「今夏は緑のカーテンを作って節電し、涼しくエコな生活を実践したい」「調理例も良かった」と感想を頂きました。



ゴーヤの育て方を学ぶ

3月8日、市民館に川崎市緑化センターの佐久間さんを迎え「ゴーヤの育て方」「植栽の知識」などの講習会を行いました。33人の参加者があり、「やり方が分かったので昨年より大きく育てたい」「今夏は緑のカーテンを作って節電し、涼しくエコな生活を実践したい」「調理例も良かった」と感想を頂きました。

若いエネルギーで 多摩区をもっと活性化

記事 渡部

まちカツ!に参加し、市民の高い意識での活動に感動しました。より活性化に必要なのは、若いエネルギーです。若者の発想力と発信力で、多摩区の魅力が多くの人に伝わります。そのために若者が参加しやすいオープンな環境が必要です。



渡部君はエコスタで活躍中!

次世代のリーダーを地域で育て、より良いまちづくりを実現していきたいですね。

「はなもす」と「多摩区ガイドマップ」 がリニューアル!

区観光推進協議会発行の観光ガイドブック「はなもす」と、区の縮尺地図と見どころを紹介した「多摩区ガイドマップ」が改訂されました。どちらも多摩区の魅力やお役立ち情報が満載です。ところで区民の皆さん、「はなもす」の意味をご存知ですか?答えは、「はなもす」の目次をご覧ください!



「はなもす」と「多摩区ガイドマップ」の表紙



「作って食べよう PartII」で遊びを語る

記事 古川

小雨の中を20人が参加。タレを作る「すり鉢」や「すりこぎ」は、子どものころに母の手伝いをした事を思い出す懐かしさがあります。豚汁と五平餅を食べた後は、昔の遊びを語り合う場になりました。子どものころの遊びを模造紙に一人が書き始めると、いろいろの遊びがイラストを交えて次々に書き込まれ、そのたびに思い出と遊び方で話が盛り上がりました。大勢で楽しんだ遊びの中には、今の子どもたちに伝えていけるヒントもあったようです。



子どものころの遊びって?

日向山の森に春が来た

記事 石郷岡

「次代に残そう多摩の里山」を合言葉に、「日向山うるわし会」が活動を始めてから11回目の春を迎えました。若葉がまぶしく感じ、草花が一斉に咲き、ウグイスなどが鳴き、まさにこれぞ里山という感じがします。近郊の小学・中学・高校の生徒が自然学習の場として訪れ、また散歩する人も多くなりました。



自然学習にもってこいの里山

ぜひ春の里山を体感してください。

五反田川のこいのぼり

記事 河崎

生田駅のそばを流れる五反田川。その少し下流の生田大橋の下あたりから、約150匹のこいのぼりが元気に泳ぎます。期間は4月14日から5月5日過ぎまでの予定です。このイベントは地域おこしの目的で2008年から始まりました。こいの白いお腹の部分に子どもたちのメッセージを書いたりしてきましたが、今年は新たに



こいのぼりが春空に舞う

に商店街や企業・団体も参加していただき、ひと回り大きなイベントに生まれ変わろうとしています。「五反田という名前を忘れないでほしい」と吉田自治会長は語ります。

多摩区の活動団体紹介!

取材 古川

かわさき水辺の楽校

かわさき水辺の楽校は、多摩川の二ヶ領せせらぎ館を拠点に活動しています。水辺の楽校は、源流から河口までと活動範囲は広く、また、里山川に入ってみんなで楽しく魚釣り! 山の自然観察や手作り教室、魚釣り、魚捕り、夏季の奥多摩サマーキャンプ、冬季の新春たこ揚げ大会など、児童に自然環境や昔遊びを楽しみながら教えている楽校です。(佐々木校長談)



第2回「多摩★まちCafe」テーマ“子ども”開催!

記事 大津

24年12月7日(土)、「かわさき水辺の楽校」「多摩区でプレーパークをやっちゃおう会」「NPO法人ぐらす・かわさき」「多摩区民生委員児童委員協議会」の4団体から、“子ども”をテーマに活動状況を発表いただきました。どの団体も工夫を凝らした活動を行っており、参加者は皆さん興味深く傾聴し、発表後2回に分けたグループセッションでは、活発に意見交換していただきました。お茶を飲み、多摩区特産のお菓子をつまみながら、ちょっとした飾りつけの中で、楽しく語り合い、同テーマで第二弾開催を!とのご意見も頂戴しました。



2回目となる「多摩★まちCafe」も大いににぎわいました

第6期「環境パートナーシップ かわさき」に参加しています

報告 井上

川崎市の条例に基づき設置された、市・市民(7区・公募・団体)・事業者の協働による地域の環境活動を促進するための、交流・提言・情報媒介組織(5部会・30人・任期2年)に、委員として参加しています。私は、「ごみ減量・資源循環部会(資源物の分別促進)」の部会長として活動しています。



地域の環境活動の促進に取り組む

多摩区でプレーパークを やっちゃおう会(たまプレ)

取材 大久保



木工工作だってお手のもの

多摩区の子どもたちが自分の責任で自由に遊び、思いっきりやりたいことができる広場作りを目指しています。最大の悩みは、プレーリーダーがいないため、現有のメンバーで対応せざるを得ないことです。若い父親や男性シニアの協力が得られれば、未来の宝である地域の子どもたちを健やかに育てる大きな力になると思います。